

寝たまごは
絶対にやめましょう！



ストーブで洗濯物を
乾かすのはやめましょう。



一日に
約3.2人の方が
住宅火災で
亡くなっています

さい。

火災による犠牲者の実態を知っていますか
平成十四年中に、住宅火災は全国で一万八千九十九件発生し、千百六十九人が亡くなっています。

発火原因を見ると、たばこの火の不始末やストーブが目立ちます。

住宅火災の怖さを、いつも忘れずにいてください。

「もしも」「まさか」の
あなたを守る

救急・消防 最前線

vol.17

住宅防火のすすめ

備えよりわが家の防火

住宅用防災機器など

住宅における出火防止、火災の早期発見、初期消火、延焼防止、通報、避難などの機器、またはこれらの機器を組み合わせたものを「住宅用防災機器等」と呼んでいます。詳しくは、消防署へお問い合わせください。

「住宅用防災機器等」を設置しましょう

防災品のカーテンを使いましょう。



住宅用火災警報器を各部屋に取り付けましょう。



防災品のキッチンウェアを使いましょう。



各部屋に住宅用消火器を設置しましょう。



市消防本部
☎ 0123

悩んでいませんか？

～ファミリー・カウンセラーがアドバイス～
vol.29（最終回）

高齢者にかかる悩みごと

Q.離婚をめぐる問題

定年2年前に、リストラで退職を余儀なくされました。退職金も以前のように支給されず、悩んだ末に妻に打ち明けたところ、離婚したいと言われました。酒もたばこも賭け事もせず、家族のために働いてきたのに、いまさら離婚とは…。この先どうしたらいいのか、夜も眠れません。

A.相手を理解する最後のチャンス 決断の前に十分話し合いを

一途に働くことが、家族への愛情だと思っていたのなら、退職と離婚のダブルパンチでこたえますね。しかし、妻が離婚を口にするまでには、何度もサインを送っていた時期があるはずです。重大性に気付かず、受け流したり無視したりしていましたか。人格的、情緒的交流がない夫婦は、相手の経済力、地位、家事・育児能力などの利便性にのみ依拠してしまい、夫の退職などから破たんに直結しやすいのです。

二人ともまじめで、自己犠牲的に頑張ったことが相手に評価されない不満を抱えているようですね。結論

を急がず、感謝の気持ちを伝え合ったり相手の話を聞いたりして、生活を楽しむ方法を見つけることが必要でしょう。二人だけでは無理なら、相談機関や調停の場を利用することをお勧めします。また、まじめな夫婦の初老期には、うつ傾向に起因する葛藤もあるので、医師に相談することも大切です。

それでも離婚が不可避なら、経済生活と心身の健康保持の両面で、双方がともに立ち行ける条件を整えることに十分時間をかけてください。

（カウンセラー・山口恵美子）